

市民ネットワーク千葉県

2023年1月
110号

2023年統一地方選挙 政策

基本は いのちと 平和です

4月の統一地方選挙に向けて、市民ネットワーク千葉県は政策を6つの柱にまとめました。全文は以下のQRコードからお読みいただけます。



詳しくはこちらで

1 いのちを守る

- ・新型コロナ対策の充実に取り組みます
- ・全国最下位の「発熱外来」を増やし、訪問診療の充実に取り組みます。
- ・年を重ねても地域で暮らし続けるための仕組みづくりを進めます

3 暮らしを守る

- ・有機農業を進め、給食のオーガニック化に取り組みます
- ・災害に強いまちづくりを進め、地震、台風、豪雨などの対策に取り組みます
- ・高齢者の外出支援に取り組みます

4 一人ひとりが尊重される社会に

- ・千葉県子どもの権利条例を策定し、虐待・いじめ・性暴力から子どもを守ります
- ・ジェンダー平等を進め、根強く残る性差別解消に取り組みます
- ・教職員を増やし「担任がいらない」問題の解消をはかります

2 地域から平和をつくる

- ・オスプレイの木更津駐屯地への暫定配備を中止し、県内全域への飛行訓練も中止することを求めます

ごあいさつ

新しい年が明けました。気候危機、新型コロナウイルス感染症の拡大、ロシアによるウクライナ侵攻など深刻な問題が続く昨今ですが、子どもや若い人たちが、明るい未来を想像できる年にしたいと強く思います。このようなときこそ、私たち大人は地域から「いのちと平和が大事」と声をあげていきましょう。4月には統一地方選挙があります。市民ネットワーク千葉県は地域政党として、議席の確保に全力で取り組んでいきます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

共同代表 伊藤とし子 岩崎明子



6

旧統一教会の地方政治への影響を検証します

5 ずっと住み続けたい千葉県に

- ・千葉県の森林を豊かにするために、森林環境贈与税の活用を進めます
 - ・通学路と生活道路の安全対策を進めます
 - ・原発に頼らず、再生可能エネルギーの導入を進めます
- 市民ネットワーク千葉県は、匝瑳市で太陽光発電パネル（農地の上に設置する環境配慮型ソーラーシェアリング）の市民オーナー制度に参加しています。

千葉県議候補予定者

4/9 投票

かわぐち
川口えみ



新

佐倉市・酒々井町選挙区

千葉市議候補予定者

4/9 投票

かながわ
金川エリ



若葉区 新

くろさわ いずみ
黒澤和泉



美浜区 新

やまさき 裕美子
やまさき裕美子



中央区 新

市議候補予定者

4/23 投票

まつしま
松島こずえ



佐倉市

いがらし
五十嵐ともみ



佐倉市

あきもと
秋本のり子



市川市

推薦

お知らせ

政策講演会

保坂展人世田谷区長

「まちづくりのリアリティ」

終了後 統一地方選政策と候補予定者の発表

第29回 定期総会 10:30～

総会は各ネット選出の代議員により行われ、会員はオブザーバーとして参加することが可能です。

13:30～ 千葉市文化センター5階セミナー室

ソーラーシェアリング発電所の名前決定！ 市民ネットワーク千葉県おひさま発電所

農地の上に太陽光発電パネルを設置し、耕作と発電を同時に行う環境配慮型太陽光発電が「ソーラーシェアリング」です。市民がパネルのオーナーになり市民共同発電所を支えます。寄付で応援する会員と市民ネットワーク千葉県からの出資、さらに27人のパネルオーナーを合わせ、157枚のパネルを設置した発電所を開設、1月末に稼働予定です。



略称：県ネット発電所
第4回ソーラーシェアリング収穫祭（11月20日）には、食・農・環境・メディア・金融など様々な分野の参加者が集まった。

市民ネットワーク千葉県元気ファンド 2022年度 助成団体決定

11月21日千葉県教育会館にて、2022年度市民ネットワーク千葉県元気ファンド公開審査会を行いました。

今年度は11団体の応募がありました。今年のキーワードは「人と人とのつながり」だと感じました。コロナ禍を経験し、「直接会って、時間を共にしてつながっていく」ことの大切さを再確認した団体が多かったように思います。助成を獲得できなかった団体も含め、今後も連携していきます。（事務局 関根）

- ❖ 特定非営利活動法人あけぼの（柏市）
障がい者の地域活動支援でマドレーヌの製造販売・冷蔵庫の購入費 … 15万円
- ❖ 特定非営利活動法人葡萄の家（松戸市）
グループホームのキッチン設備修繕 …………… 20万円
- ❖ 特定非営利活動法人こころね（千葉市緑区）
不登校支援活動でのプレイパークの物置購入と設置費 …………… 20万円
- ❖ 東いちほらエコミュージアム（市原市）
高齢者の生きがいづくり・団らんの場としての里山カフェの開設費用… 20万円

危険がいっぱい！マイナ保険証 オンライン学習会 11/20

10月13日河野デジタル相は、現行の健康保険証を2024年秋には廃止して、マイナンバーカードと一体化すると発表。国民の反対の声が高まっています。マイナンバーカードは本人の意思により「任意」で交付されます。公金受け取り口座等を設定すると合計2万円分のポイントがもらえることで、申請が国民の半数を超えました。

マイナ保険証を使うには、各医療機関に患者自身が毎回顔認証をするカードリーダーの導入が必要です。医療機関は、導入後も、保守管理料や、数年に1度予定される機器の更新費用などがかかります。現在、カードリーダー設置済みの医療機関は全国で3割しかありません。高齢の医師を中心に「導入を義務づけられるのなら廃業する」という声も出ており、コロナ禍の医療機関に追い打ちをかけています。

マイナ保険証になれば、常時携帯することになり、紛失・盗難などのトラブルで、個人情報流出や経済的な被害のリスクが格段に増えます。ところが、驚くことに「損害が出て国は一切の責任を負わない」とマイナポータル「利用規約免責事項」に明記されています。問題が起こっても、すべて私たちの「自己責任」となるのです。何よりも問題なのは、全ての個人の医療情報が集約され、製薬会社や保険会社など民間企業に利用される恐れがあることです。

マイナ保険証を国民全員に持たせれば、顔認証技術と街角の防犯カメラとで、国民の一举手一投足を監視する社会ができあがります。私たちは、カードを持たないという声をあげ続けていきます。

川口えみ（佐倉市議会議員）

2022年9月27日、多くの国民が反対する中、安倍元首相の国葬が強行されました。市民ネットワーク千葉県では街頭でのアピールや署名活動を行い、国葬反対を訴えました。

国葬には法的な根拠がなく、国会を無視して閣議だけで決定されたことが一番の問題です。憲法のもとでは、すべての国民が平等であり、特定の個人の葬儀に税金を使うことは許されません。当初2億5千万円と言われた費用も、終わってみれば12億4千万円に膨らんでいました。

安倍元首相は、「数々の悪法の強引な成立」「モリ・カケ・サクラの疑惑」「旧統一教会との関係性」など多くの問題を残したまま、亡くなりました。「死者に鞭打つな」という風潮は、問題の解明や今後に向けての方策を考えることを妨げるものでしかありません。私たちは、これからも国葬への怒りを忘れず、このような理不尽なことがまかり通ることのない社会にしていきたいと思います。 麻生修子（市民ネットワーク・ふなばし）

憲法違反の国葬強行

旧統一教会問題

安倍氏銃撃事件で明らかになったのは、安倍一族と旧統一教会との関係性です。旧統一教会は、高額な寄付の強要や、毒や印鑑を売りつける霊感商法、また人権を無視した合同結婚式を行ってきたカルト集団です。2009年には霊感商法が全国で摘発され、東京地裁は違法性を認定しています。

この事件をきっかけに、自民党改憲草案や家庭教育支援条例等、国や県の統一教会と政治との関係について、徹底的な調査と事実関係の解明を求める意見書案を提出しましたが、反対多数（自・公・立憲千葉民主の会・他）で否決されました。

千葉県は全国で唯一「男女共同参画条例」のない県です。堂本知事の時、成立間近だった条例案が自民党の強力な反対にあい、お蔵入りになった歴史があります。この背景に旧統一教会関係の団体がからんでいたと推測されます。

政策に深く介入してきたことが明らかになっていきます。



伊藤とし子
佐倉市・酒々井町選出
県議会議員

千葉県議会では

政治を正すには

朝日新聞社のアンケートでも、濃淡の差はあれ、教団との接点を認めた県議は12人。市民団体の調査により、県議4人（自民元職・現参議院、自民党立憲民主千葉民主の会、無所属）が昨年の政務活動費から教団機関紙などを購読していることが判明しました。9月議会で、市民ネットワークは「旧統一教会と政治との関係について、徹

「空白の12年間」の後に 報告 10/28

熊谷知事と市民ネットワーク千葉県会員との懇談

知事選後、熊谷知事との2度目の懇談が行われた。事前に提出した質問は次の通り

1. 新型コロナウイルス対応
2. 長期療養中の児童生徒への学習の保障
3. 自立援助ホームの子どもたちへの支援
4. 霞ヶ浦導水事業
5. 千葉県の給食の無償化とオーガニック化
6. 福島原発汚染水海洋放出
7. 千葉県男女共同参画条例づくり
8. 東京都の新築住宅への太陽光発電設置義務付け
9. 子ども医療費の助成割合など、政令市だけ格差がある問題

短時間ではあったが、知事はすべての質問に答え、その後の質疑と新たな質問にも明快に応じた。新型コロナウイルス対応について、発熱外来指定率アップへの働きかけを行うこと、子育て、教育の分野は、次年度以降も様々な施策を展開するべく準備している、とのことで期待される。

県庁のイメージについて「県職員には自分たちがやりたいことをやってみようという雰囲気が出てきた」と答えた後、「堂本県政を引き継いだ、という感じだ」とのコメントにざわめきがおこった。森田県政の12年間は、積極的な県民参加を進めていた堂本県政を後退させた「空白の12年間」だった、ということを知りあらためて想起したのだった。

今後の熊谷県政を注視していくとともに、私たち自身の県政への参画が問われている。 宮田敬子（市民ネットワーク花見川）



▶ 各ネット連絡先			
市民ネットワーク・のだ	☎04-7123-6981	市民ネットワークみはま	☎043-278-5005
市民ネットワーク・ふなばし	☎047-426-8321	市民ネットワークわかば	☎043-284-2339
さくら・市民ネットワーク	☎043-462-0618	市民ネットワーク中央	☎043-379-4958
よつかいどう市民ネットワーク	☎043-304-3823	市民ネットワークいなげ	☎043-379-4958
きさらづ市民ネットワーク	☎0438-36-0677	市民ネットワーク花見川	☎043-379-4958
市民ネットワークちば	☎043-379-4958	市民ネットワークみどり	☎043-379-4958